



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.hoyukai.org/>

第103号

発行:2014年11月15日
発行責任者:
特定医療法人社団 鵬友会
事務局長 池島 守



法人創立30年の歴史を振り返って

～法人での13年に思いを寄せて～

法人本部 事務部課長 上村 義孝

医療法人社団 鵬友会は昨年8月に30周年を迎え、盛大に記念式典・祝賀会を開き（※詳細は鵬友会ニュースレター89号に掲載）今年の11月には記念講演会を行いました。この素晴らしい節目に職員として在籍できたこと大変うれしく思います。

私が当法人の3つ目の病院、横浜ほうゆう病院（当時：ほうゆう病院）の総務課員として入職したのは、今から13年前の平成13年3月5日、23歳のときでした。病院は、その年の4月1日オープンに向けて、開設準備のために数人がいる程度で、建屋は完成していましたが、患者さんはいない状態でした。警備のため交替で誰もいない病院の当直業務を行い、夜間1人のため、なかなか眠れなかったことを覚えています。また、開設当初は0からのスタートでしたので、患者さんの受入、職員の確保、医療機器や衛材、事務机、棚の発注、書類等の整備まで、当時の職員は忙しい毎日でした。特に現場の方々は、207床あったベッドを約半年で満床にしたことは、新卒の右も左もわからない私から見ても『凄い人達』だと感動しました。

それから13年間、法人内のいろいろな施設を経験させていただき、私にとっては大きな財産となりました。現在は法人本部で勤務しており、法人の今までの歴史に関することや、資料を拝見する機会が増え、当時から居た方々までとはいきませんが、大変詳しくなりました。

法人の歴史を簡単に振り返ってみますと、医療法人社団鵬友会は、地域に密着した医療・福祉を提供

し、様々な苦労や困難、そして、多くの喜びを地域の皆様と共有し、成長を繰り返してきました。設立時から10年間の【創成期】は、とにかく『お金はない、職員はいない』という状況で、大変な苦労があったそうで、どこからの手助けもなく、“つて”もない状態からのスタートであったと聞いております。そんな中、湘南泉病院（当時：阿久和病院）を皮切りに、新中川病院、介護老人保健施設阿久和鳳荘、ほうゆう訪問看護ステーション、ほうゆう介護支援事業所を開設しました。これは、想像しきれないほどの努力や情熱がないと行われなかったことだと思います。そして、法人設立10年目から現在までの【成長期】は、徐々に経営、人員は安定していき、将来増加するであろう「認知症患者」に着目し、認知症に特化した横浜ほうゆう病院（当時：ほうゆう病院）を開設しました。続けて、精神科クリニックのあしたばメンタルクリニック、内科・呼吸器内科の本郷クリニック、そして、院内保育所を独立させ、横浜保育室ほうゆうを開設しました。これにより、職員数は約640名（平成26年11月現在）の大所帯となりました。

文章で書くと伝わりにくいですが、一口に30年といっても、それは並大抵の事ではなかったと思います。30年間の築かれたものの大きさ重さを感じながら、次のステージへと進んでいくために、我々職員が、先輩方の思いを引き継いでいかなければと思っております。

第23回
市民向け医療・福祉講座
医療法人社団 鵬友会
創立30周年記念講演会

医療法人社団 鵬友会は、昨年8月に30周年を迎えました。これを記念しまして、11月7日（金）午後7時から横浜市旭区民文化センターにて“医療法人社団 鵬友会 創立30周年記念講演会”を開催しました。講演会当日は、平日の夜にも関わらず、200名を超える方にご参加頂きました。



開会挨拶：池島理事長

講演会ではまず、池島理事長が「これまでの30年間に携わってきた地域の皆さま、鵬友会OBの諸先輩、現役職員の皆さまに感謝の言葉を述べ、現在、医療界はこれまでにない厳しい変革の時代に直面しており、これまでの30年と、これから先の30年とは全く違うものになるのではないかと思います。本日は展望も含めて、お話します。」と挨拶しました。

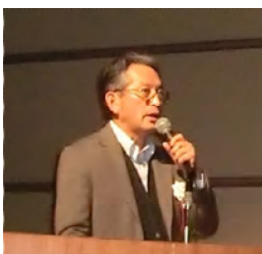
第1部基調講演では、池島常務理事が【法人創立30年の歴史とこれからの未来に向けて】と題した講演を行いました。初めに、法人創立30年の歴史を映像とスライドで紹介し、映像では、30年の生い立ちが分かり易く構成されていました。続いて、これからの医療・介護業界の未来について、2025年問題を中心に『人・物・金』の3視点で、分かり易く説明し、鵬友会が今後、存続・発展を遂げるための将来像を述べました。



基調講演：池島常務理事



講師：末盛院長



講師：福田院長

第2部では、各施設長が【施設の紹介と方針】を講演しました。初めに、湘南泉病院の末盛院長より、病院の概要・各診療科の特徴や得意分野・各部署紹介、そして、病院としての方針を具体的に述べました。次に、新中川病院の福田院長は、①鵬友会内での機能分化を図る ②新中川病院の強み、長期療養に特化する ③職員の働きやすさを追求する という目的で病棟再編を行ったこと等、きれいに整備された病棟内の写真を交えて説明しました。続いて、横浜ほうゆう病院の日野院長は、病院の概要や認知症に対する説明、病院の仕組みを述べ、今後の目標・課題として、入院中心の医療を提供することにより、患者様・ご家族・介護者・医療福祉関係者などから信頼される医療機関を目指していくことを説明しました。最後は、介護老人保健施設 阿久和鳳荘の根本施設長より、介護保険制度の仕組みや内容を説明し、施設の概要や特徴、今年の6月から、認知症専門棟を設けたことを述べました。



講師：日野院長



講師：根本施設長

会場からは「湘南泉病院の形成外科に受診してみたい」「横浜ほうゆう病院での入院申込から入院までの期間はどれくらいでしょうか」といった質問があり、各施設長は具体的に、時にはユーモアを交えながら返答していました。

これを機に、今後もますます地域の皆さまへ、安心・安全な医療・福祉をご提供すべく、法人運営に邁進してまいります。



会場風景